

第 37 回 下野市男女共同参画推進委員会会議録

日 時	平成 29 年 10 月 24 日 (火) 午前 10 時 00 分～12 時 00 分
場 所	下野市役所 203 会議室
出席委員	堀眞由美会長、井上永子職務代理、百武亘委員、生澤里美委員、倉井金男委員、大栗俊克委員、高木智子委員、楡木久美子委員、諏訪守委員、吉田真英委員、大橋将太郎委員、九鬼眞澄委員、松嶋淑恵委員
欠席委員	海老原新子委員
事務局	長勲総合政策部長、関久雄市民協働推進課長、根本宣明主幹、朝日萌子主事
傍聴人	なし

○次第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 副市長あいさつ
- 4 委員、事務局紹介
- 5 会長選任
- 6 会長あいさつ
- 7 職務代理の選任
- 8 議事
 - 1) 委員会の運営方法について
 - 2) 全体スケジュールについて
 - 3) 第二次下野市男女共同参画プランについて
 - 4) 次期 DV 対策基本計画の策定について
 - 5) その他
- 9 閉会

1) 委員会の運営方法について

事務局より資料に基づき説明

■委員からの質問・意見

なし

2) 全体スケジュールについて

事務局より資料に基づき説明

■委員からの質問・意見

なし

3) 第二次下野市男女共同参画プランについて

事務局より資料に基づき説明

■委員からの質問・意見

1) 「あらゆる分野において女性が活躍できる」「女性の活躍をささえる基盤づくり」の、活躍をするのはどこなのか。家庭の中で男性は活躍しないのか。男性の「人に見えるところ」以外の「仕事と思われない部分」も今後の検討として入れてほしい。

・現プランはすぐには直せないが、今後 32 年度までがこの計画の期間なので、31 年から 32 年にかけての検討の中で改めてその辺も皆様にご提示しながら調整を進めていきたい。

2) こちらのプランはどういったところに配布しているのか。

・市内の各戸、市内公共施設、公民館・生涯学習情報センター・図書館に設置。広報にも一部抜粋して掲載を行った。また、常時ホームページを通じてデータは閲覧可能。男女共同参画の啓発週間や、産業祭等の市のイベントに参加し、配布・啓発に努めている。

4) 次期 DV 対策基本計画の策定について

事務局より資料に基づき説明

■委員からの質問・意見

1) 平成 31 年度の市民意識調査について、調査方法を知りたい。

・実際に 23 年・27 年に実施した時点では市民を 2,000 人でランダム抽出し、2,000 人対象で行った。23 年時点では 35.5%、27 年時点では 33.3%の回収率。階層別の割合であり、傾斜をかける必要はないと考えている。

↓

ランダムに送っているが、回答が来るのはご年配の方が多かったと記憶している。若い方たちからの意見も吸収しないといけない。また回収率の男女比についても検討が必要。前回足りなかった回答の世帯層の人達からの回答をどうやって救い上げていくかの検討が必要。

2) 「男性、女性の別を問いません」と書いてあるが、ここに何も書かないと、同性パートナーが含まれていないかもしれないと解釈できるので、「同性パートナー間の暴力も含みます」という事を明記した方が良い。

・文言の修正が必要。相談して決めていきたい。

3) 当市よりも人口が多いとはいえ相談件数が違うが、宇都宮・小山・日光と、それぞれに相談窓口は、当市で行っている相談窓口と体制は同じか。それに対して当市が参考にして変える方向はあるのか。

・宇都宮市、日光市、小山市においては DV の相談支援センター、配偶者暴力相談支援センターを設置している。市内だと相談に来にくいというケースも見受けられ、住んでいる方が全てではない。数字は県内全体で見た方がよい。婦人相談員あるいは保険相談員が事前の電話や来庁等で対応してい

る。

↓

相談しやすい体制づくりを希望する。また「約 5 割が相談窓口を知らない」と回答」というのも問題。

- 4) 婦人相談員というのはどういった形で決まっているのか。
 - ・資格のある方が望ましいが、専門性や忍耐など色々要求されるので情熱のある方を募集している。着任したらちゃんと対応ができるよう、研修は随時毎年行っている。

- 5) 第三者が目にしたたり耳にしたたりした場合の通報はあるのか。またそれを知った時にシェルターか一時保護所への対応はあるのか。
 - ・「児童虐待」では、匿名の通告者からの通報で、現地調査に行くことはある。DV では事例がない。

5) その他

- ・「イクボス合同宣言」イベント実施について
- ・DVに関する学習会について
- ・38 回の男女の推進委員会について

■委員からの質問・意見

なし